

コンクリート技士試験 演習問題の解答と解説

正解 (3)

一般に粒度が適当であれば、最大寸法が大きいほど、単位セメント量や所要のコンシステンシーを得るために必要な単位水量を小さくでき、水和熱や乾燥収縮の面からも利点が多い。

粗骨材の最大寸法が大きいほど、単位容積または単位質量当たりの表面積は小さくなり、実積率は大きくなる。したがって、粗骨材の表面積を覆い、粗骨材間の空隙を満たすために必要なモルタル量は少なくなることから、細骨材の割合すなわち細骨材率や空気量は小さくなる。